

1 本計画の位置づけ 基本計画1頁(基本計画策定の経緯)より

焼津市立総合病院は急性期医療を中心とした市内唯一の公立病院であり、地域や市民に開かれた病院として、安心安全な医療の提供に努めてきました。しかしながら、昭和58年に現在地へ新築移転してから既に34年が経過しており、この間、老朽化やめまぐるしく変わる医療ニーズに対して改修を重ねてまいりましたがそれも限界に近づき、新病院の整備が必要となっています。さらに、人口減少社会を迎え、病床の機能や規模を診療への影響がなく、柔軟に変更できる病院づくりが必要となってきています。

このような背景を踏まえ、市立総合病院が将来にわたり、人口減少等の変化に対応しながら、地域や市民の求める医療を提供し続けていくために、平成24年に新病院整備に関わる検討会をはじめて開き、平成28年には焼津市新病院整備基本構想を取りまとめました。この基本構想を設計段階に向けより具体化したものが基本計画となります。

本計画では、新病院の目指す病院像、施設規模や配置などの建設計画、外来や病棟をはじめとする各部門の計画、医療機器整備計画、人員計画および財政計画等についてご提示します。

2 目指す病院像と重点機能 基本計画3頁～(全体計画)より

■ 目指す病院像

- 市民の安心を医療面から支える病院
- 市民の広範な医療ニーズに対応する病院
- ICT・AI(人工知能)等の最新科学技術を活用した市民にやさしい病院
- 救急医療・高度医療を提供する志太榛原保健医療圏の地域中核病院
- 医療政策・社会の変化に対応する病院
- 職員が誇りとやりがいを持ち働きやすい病院
- 持続的な健全経営を実現できる病院

■ 重点機能

- 重要疾病等
 - がん医療
 - 脳卒中医療
 - 急性心筋梗塞
 - 糖尿病
 - 肝炎
 - 精神疾患
 - 腎臓・泌尿器疾患医療
- 重要事業等
 - 救急医療
 - 災害医療
 - 周産期・小児医療
 - 人間ドック・健診
- 医療安全・感染対策
- チーム医療体制の充実(センター化)

3 施設整備の基本的な考え方 基本計画13頁(建設計画)より

■ 患者中心の施設整備

- 疾病や障がいの有無・年齢・性別・国籍等に関係なく、誰もが利用し易いこと
- 医療安全、感染管理およびプライバシーの保護に配慮

■ 変化に対応できる施設整備

- 医療環境の変化(医療制度改革、医療技術の進歩、少子高齢化における医療ニーズの変化等)に対応できること

■ 災害に強い施設整備

- 災害時にライフラインが確保できること
- 災害後に病院機能が維持できること

■ 患者ケアがしやすい機能的な施設整備

- 効率的な業務動線が確保できること

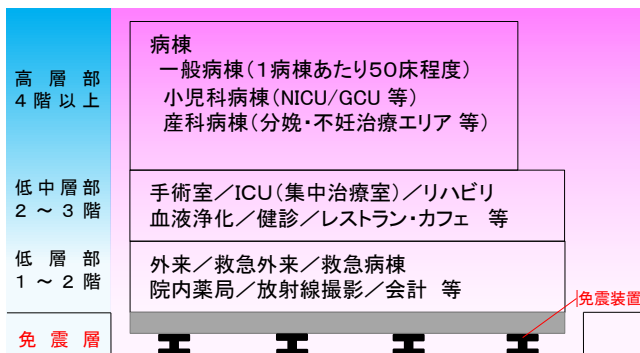
■ 経済性を考慮した施設整備

- 維持管理費の軽減を考慮すること
- 省エネルギー化により、コストと環境負荷を軽減すること

4 施設規模と配置計画 基本計画15頁～(建設計画)より

- 病床数 : 450床程度
- 延床面積 : 38,250㎡(85㎡/床)程度
- 建物 : 免震構造 8階程度(右図)
- 配置計画

□建設場所については、建設費・工期、患者動線、設計の自由度および周辺交通への影響等を考慮し、現病院西側の職員駐車場に建設する案を候補として引き続き検討します。



5 整備スケジュール 基本計画23頁(建設計画)より

工 程	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目
基本設計	→								
実施設計			→						
建設工事					→				
開 院							◎		
解体工事								→	
外構工事									→

6 各部門における新たな取り組み 基本計画24頁～(部門別計画)より

■ 外来受付のブロック化

- ブロック化した外来ごとに受付を設けることにより、職員配置を効率化する一方で、スムーズな案内が可能となります

■ 救急病床の設置

- 緊急に入院を要するとされた患者を一時的に救急病床にて受け入れることにより、救急患者の確実な受け入れを図ります

■ 手術室の拡充(増室・将来的な可変性)

- 手術室は現状の8室から増室
- ハイブリッド手術室や手術ロボットの導入等に応じ、将来的な拡張を想定します

■ 透析ベッドの増床

- 現状の35床から増床します

■ 健診(人間ドック等)施設の拡充

- 1日あたり30人の受診者に対応できる独立型の施設を整備します

7 医療従事者の人材確保 基本計画58頁～(人員計画)より

■ 基本方針

- 優れた医療従事者の育成を目指します
- 健全経営を目指し、業務量に対応した適切な人員配置とします
- 常に質の高い医療の提供のための労働環境を整備します

■ 働きやすい環境の整備

- 勤務環境の整備
- 福利厚生施設の整備

■ 医師の確保

- より質の高い医療の提供を図るため、必要十分な医師を確保します

■ 看護師の確保

- 救急病棟の設置等に対応した看護師配置を適切に行う等、急性期医療に必要な看護師を確保します

■ 医療技術者の確保

- 業務量の増加が見込まれる血液浄化療法部門等の医療技術者を確保します

8 事業費と収支シミュレーション 基本計画60頁～(財政計画)より

■ 概算事業費

1 設計・監理料	4.7億円
2 用地取得費	3.3億円
3 工事費	223.3億円
4 解体費	8.6億円
5 医療機器等整備費	58.0億円
6 職員宿舎・院内保育所建設費等	16.1億円
合計(税込)	約314億円

- 事業費は今後の建設物価変動により変動(増減)する可能性があり、引き続き事業費の精査に努めていきます

■ 収支シミュレーション

- 試算の設定条件
 - 一日平均患者数(開院時) : 入院 400人程度
 - : 外来1,040人程度
 - 診療単価(開院時) : 入院54,000円
 - : 外来13,630円

□ 試算結果

- 開院5年目に黒字化する見込み